

東京大学での所属学部/研究科・学年(プログラム開始時): 農学部農業資源経済学専修 4年

参加プログラム: Cologne Summer School on Environmental Studies 派遣先大学: Cologne University

卒業・修了後の就職(希望)先: 1.研究職 2.専門職(医師・法曹・会計士等) 3.公務員 4.非営利団体

5.民間企業(業界:商社) 6.起業 7.その他()

派遣先大学の概要

ケルン大学は 1388 年に設立された、ヨーロッパ最古の大学の一つです。また 44,000 人の学生を持つ国内最大級のマンモス校でもあります。さらに、ケルン大学は 2012 年に連邦と州の「第三次大学エクセレンス・イニシアチブ」で、エクセレンス大学に選ばれました。

参加した動機

海外の大学院に進学することも視野に入れていたため、海外の大学で勉強することを一度経験してみたいという気持ちがありました。そのため、英語を学ぶことを目的とせず、そして自分の専門ではないものの、昔から興味があった環境問題について学ぶことができるということが魅力でした。

参加の準備

- ①プログラムの参加手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)
- ②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)
- ③医療関係の準備(出発前の健康診断、予防接種等)
手続き関係で問題になることは特にありませんでした。(ビザに関しても滞在が 30 日以内であれば不要でした)
- ④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)
ケルン大学側が指定した保険に加入しました。
- ⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)
特にしていません。
- ⑥語学関係の準備(出発前の英語レベル・語学学習等)
出発前の英語レベルは、TOEIC930 点、TOEFL は受験していません。5月頃から TOEFL 対策の授業をとり、少しでも英語に慣れた状態で行くようにしました。
- ⑦日本から持参の方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど
英語で授業を受けたのが初めてだったため、授業と議論についていくのが大変でした。専門性の高い内容の場合がほとんどだったので、事前にその分野の英単語をチェックしておいた方がよいと思います。できれば、その分野における英語の論文等も読んでいくとよいと思います。

学習・研究について

- ①プログラムの概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている内容等)
ケルンは「持続可能な都市」を目標に掲げており、それを達成するための取り組みを、Urban Green Space, Public Transportation, Waste Management という 3 つの側面から学ぶことが今回のプログラムのテーマでした。そのため、実際に現場を訪れる機会が多く、午前中は講義を受け、午後は Field Trip という流れが多かったです。講義に関しては、基本的に予習は不要で、教授や専門家の話を聞くという形式に加え、途中で講義を受けているテーマに関して discussion やグループワークをする機会も多かったです。講義、Field Trip の他に 5 人ずつのチームで取り組むプロジェクトワークもあります。学生はプログラムの最初に Urban Green Space, Public Transportation, Waste Management 各 2 チームずつの 6 チームに分けられ、そのグループでプログラムの最後にプレゼンを行いました。
- ②学習・研究面でのアドバイス
知識が豊富だと、議論しやすいので、事前に知識をつけてからいくと良いでしょう。さらに、今回のプログラムでは自分の住んでいる都市や国とケルンや他国を比較するという視点も必要だったので、日本の文化や取り組みについても事前に確認しておくとう良いでしょう。
- ③語学面での苦勞・アドバイス等
リスニングには自身があったので、講義や他の学生の話が聞き取れないということで苦勞したことはあまりなかったですが、議論に参加するのが非常に大変でした。英単語が出てこないことや適切な表現が使えずに、上手く自分の考えを伝えることができませんでした。上手に話せなくても、多くの学生は話を聞こうとしてくれるので、恥ずかしがらずに話した方がよいと思います。

生活について

①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)

大学側が大学近くのホステルを用意してくれました。(大学までは電車で約5分、徒歩で約20分の距離)

ベトナム人の留学生と二人部屋で、ほぼ毎日一緒に過ごしたのでかなり仲良くなりました。ホステルには朝食も付いており、そこからお昼を持ち出すこともできました。部屋も綺麗で快適でしたが、Wi-Fi環境は良いとは言えませんでした。



②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

気温の変化は大きく、30℃まで上がる日もあれば、20℃に満たないような日もありました。ジャケットを持っていった方が安心でしょう。交通機関はちゃんとしており、移動手段に困ることはないと思います。

ホステルは大きな駅の近くにあるので、食事処はたくさんあります。

③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

ケルンは治安が良い方ですが、プログラム参加者でケルンの中心駅でスリにあったので、財布等の貴重品の管理には気をつけた方が良いでしょう。深夜には酔った人も多かったので、深夜出歩く場合は二人以上で行動した方が安全だと思います。

④要した費用とその内訳(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

授業料と宿泊代はかからないプログラムとなっています。

食費に関しては、一食あたり平均5~7ユーロぐらいでした。

プログラム期間中はケルン市内の公共交通機関を自由に使えるチケットがもらえるので、交通費はほとんどかかりませんでした。

⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

日本学生支援機構から8万円

卒業生寄付募集活動「東大生海外体験プロジェクト」から8万円

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末の過ごし方など)

毎日ではないですが、何度か飲みに出かけました。

途中で2日間のオフがあったので、そのオフを使ってアムステルダムに行きました。ケルンはパリ、ベルリン、アムステルダムなどヨーロッパの大きな都市に比較的近いので、休みを使って旅行することをおすすめします。

派遣先大学の環境について

①参加学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

国際センターのスタッフと学生のスタッフが困った時はすぐに相談に乗ってくれていたため、参加学生へのサポートはしっかりとしていると思います。

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

図書館には discussion するスペースがあり、夜12時まで空いているのでグループワークをする時には役立つと思います。食堂は安く食事をすることができるので活用すると良いでしょう。

大学構内の Wi-Fi 環境はしっかりと使えて使いやすかったです。

プログラムを振り返って

①プログラムの意義、参加を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

このプログラムでは13カ国から29人の学生が参加しました。そして、私のように農学を専攻している人の他に政治学、法学、物理学、化学を専攻している人も参加しており、国籍だけでなく、学問分野も多岐にわたっていました。さらに、大学院生の人も多く参加していました。そのため、様々なバックグラウンドを持った人とレベルの高い議論を経験できました。今回のプログラムで、環境問題に対する知識が深まったことはもちろんのこと、様々な文化や価値観を持った人といかに関わっていくかということも学びました。自分の視野が広がり、今まで持っていなかったような視点を持つようになったと思います。しかし、その一方で、自分の英語力のなさを痛感することが多々ありました。英語に関して、今後より一層努力して、自分の考えを正確に伝えられるようなレベルにしていきたいと思っています。

②参加後の予定

一旦就職をし、就職後に海外の大学院に留学しようと思っています。

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

特にありませんでした。

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。



The University of Tokyo Study Abroad/Student Exchange Program Report Form

Date: MM/DD/YYYY

Faculty/Graduate School: Faculty (Undergraduate) Year: 3
 Program Attended: Cologne Summer School in Sustainable Cities
 Organizing Overseas Institution/University: University of Cologne
 Occupation after graduation (intended):

- | | | |
|-------------|--|---------------------|
| 1. Research | 2. Specialist (Medical · Judiciary · Accountant) | 3. Civil Service |
| 4. NPO | 5. Private sector (Type of industry:) | 6. Entrepreneurship |
| 7. Others (|) | |

Outline of the receiving institution overseas
 University of Cologne, Public University of the city of Cologne, Fourth largest University of Germany

Reason why you decided to participate
 The program 's theme fits my major, environmental sciences.
 The time of the program is not too different from the study period.

Preparation for the program
 (1) Application process (please give any advice on dealing with the application process)
 I did not have any difficulty applying. Students who don't understand Japanese well may need some help with the paperwork, but otherwise is fine.
 (2) Visa application (type of visa, where to apply, processing time, any advice on visa application)
 Visa application to the Germany Embassy in Tokyo requires very early appointment (3 weeks in advance), so make sure to manage time well.
 (3) Medical check-ups (health check-ups before departure, inoculations, etc.)
 n/a
 (4) Insurance (information about insurance for travel/studying abroad purchased)
 Several kinds of insurance are required, but I did not use any.
 (5) Procedures required by your Faculty/Graduate School (any information about course registration, credits, exams, submission of dissertations etc)
 I have to submit my assignments via emails and miss a few classes.
 (6) Language preparation (language level (English, etc.), lessons etc.)
 I learned some German, but it was OK to communicate in English in Germany.
 (7) Items which should be taken with you from Japan and any other advice on things which should be done before leaving Japan.
 Electrical socket adapter to European plug is very important. Digestive medicine is useful. Maps that work offline (smart phone application) is strongly recommended.

Information on the academic/research program
 (1) Outline of the program (Style of the lessons/preparation study/review study, thing which left an impression on you, etc.)
 Please see attachment
 (2) Advice on aspects of academic/research work
 Please see attachment
 (3) Problems experienced with language issues, advice concerning language, etc.
 No problem, there were always enough help from teachers/staffs or other students.

Aspects of life
 (1) Accommodation (Type (home-stay, room-sharing etc.), cost, atmosphere/appearance of accommodation, how you found it, etc.)

Accommodation provided the program was excellent. Great location near center. Many shops & facilities available. Great food. Safe.

(2) Living environment (such as climate, environment around the institution, transport facilities, food, managing your money (overseas money transfer, credit cards))
Rather cheaper than Tokyo in terms of price. Manageable weather, caution of rain. Transportation is convenient.

(3) Aspects of risk and safety management (safety of local region, condition of medical facilities, any action taken in maintaining your mental and physical health, etc.)
Could be risky: drivers/bikers are hasty, risk pickpockets in crowded place, some public drinking/drugs use.

(4) Details of expenses (breakdown of costs, such as airfare, program fees, cost of required books, rent, food, travel cost, money spent on entertainment)
Airfare roughly 130,000 yen.
Program fees, accommodation, breakfast, study material, field trips, was all free.
Cafeteria meal cost 4 euro each (600 yen).

(5) Financial aid (if you were receiving financial aid/scholarships, please give the name of the source of the aid, amount, and how you found it, etc.)
Scholarship of University of Tokyo. The rest of the fee in the program was covered by their sponsor.

(6) Activities other than academic/research work (sports, cultural, volunteer/internship, weekend activities, etc.)
We joined some field trips and learned many things about cultural diversity of the place and the group of students we were with. It was a fantastic experience. Since we were in Europe, we took a weekend off to travel to Netherlands as well.

Environment of the receiving institution

(1) Support facilities for students taking part in the program (such as language, academic, living support mechanism and counseling services)
Support team was very responsive and flexible. We contacted mostly through mail or facebook for more casual things such as weekend dinner/karaoke/quick help.

(2) Facilities (libraries, sports facilities, cafeteria, IT equipment and facilities, etc.)
Most school facilities required a student ID which we did not have, so we could not utilize them.

Looking back over the program

(1) The significance of the program and how you have developed by taking part in it, any other impression from having studied abroad
Please see attachment

(2) Your plans having studied abroad
Apply what I have learned abroad into my study in PEAK

(3) Any messages or advice for future participants
Please see attachment

Miscellaneous

(1) Websites or publications which were useful while preparing for or during your time overseas
The brochure is being done, but I am not sure when it will be out.

(2) Please submit any photographs which may be used on the University of Tokyo websites or publications.

Please see attachment